



TITLE:

雑報

AUTHOR(S):

CITATION:

雑報. 地球 1924, 2(5): 621-625

ISSUE DATE:

1924-11-01

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/182766>

RIGHT:

○町村變更

府縣名	郡名	村名	新町名	變更月日
廣島	豊田	大河	河内	四、一
兵庫	津名	富島	富島	同
熊本	天草	登立	登立	同
千葉	香取	栗源	栗源	四、一〇
秋田	河邊	牛島	秋田市へ編入	四、一
長崎	南高來	小濱	小濱	同
鹿児島	嶺	岩川	岩川	同
神奈川	足柄下	國府津	國府津	同
靜岡	田方	網代	網代	六、一
宮崎	北諸縣	庄内	庄内	五、一五
廣島	佐伯	玖波	玖波	六、一
東京	豊多摩	杉並	杉並	同
兵庫	津名	都志	都志	同
石川	石川	野々市	野々市	七、一
鹿児島	出水	下出水	三笠	四、一

○但馬湯村温泉の泉源と泉温

山陰線濱坂驛より自動車にて岸田川谿谷を南行、約三十分の地にある湯村温泉は湧

出量の豊富(一日一萬五千石と俗稱)と、舊式百度に近き熱泉とを以て山陰稀有の温泉である。附近一帯は二三百米、霧に五百米に及ぶ山岳重疊し、河流の浸蝕著しく、谿谷は何れも深きV字をなし平地極めて乏し、湯村の南には斑岩質花崗岩があり北部には礫岩、砂岩、頁岩より成る第三紀層が度々發達してゐる。石英粗面岩は花崗岩を貫きて迷出し、湯村の南方に草太山(五一六米)、城山等をつくる。この附近に於ては標式的の流紋構造 美麗なるスフェルライト、ピツチストーン等を觀察し得る。湯村に於ては約北六十度東、東南に約五十度の傾斜を有する極めて酸性のリバリチツクの岩脈があつて、正福寺東南の崖をつくつてゐる。この岩脈は一部春木川のために浸蝕され、又は湯村町家の存する三米内外の河成段丘の礫層に被覆されてゐるが、北東山麓に於ては再び露頭を認め得る。荒湯、共同湯等の主要温泉はこの岩脈に接し、其他の温泉もこの方向に延長し、これを遠ざかるにつれて漸次に泉温が低下する。思ふに、この岩脈の裂隙は湯村温泉の泉源をなすもので、それに多量の珪環水が加はつて湧出量を豊富ならしめてゐるを考へられる。本年九月下旬調査した處によれば各泉の温度は、荒湯(九五・五)共同浴場(九〇・五)、富屋(五八)、岡田英夫(五五)、三軒屋(四二)、仲町共同井(三四)繁榮橋畔湧泉(四四?)、北島町共同井(三〇・八?)、村役場井(三〇・五?)である。この外、二〇度乃至三〇度の湧泉は甚だ多く、西新町のラザウム泉は二五度である。以上の中、浴用に供せらるゝは共同浴場のみで、他は全部井水で用水に使用してゐる。湧出最多なる荒湯は、一部を製紙、

製糖、クレイ工場等を使用し、又は町民の食料煮沸に用ふる外は放出にまかしてある。湯村温泉の豊富な泉量と高熱なることは、温泉利用法につきて講究すべき價值ある點と思ふ。(T. U. S.)

○最近の佛國國勢 當國の國勢をその財政、内外債務、外國貿易、對外爲替等の方面より討究すれば、

戰後フランスの財政は如何なる推移を通りしか、いふに大正七年一般歳出は大正七年四八〇億フランを最盛として漸時減少し昨大正十二年は二三四億フランに、今年の政府豫算案は更に減少して二三三億八〇〇〇萬フランになり大正七年の半に下り歳入は全然反對の趨勢を通り大正七年の六八億より漸時増加し昨大正十二年の二三四億となり今年は二三九億となり。右の如く今年の歳入は大正七年の三、五倍となりしなり。尙その上大正十一年まで歳入より歳出多くして毎年不足を告げしも大正十二年より剩餘金を出し得る狀となり今年は昨年より更に多くの剩餘金を生む筈に成り居れり。かく當國の財政は一路恢復の道程を進れるものと云ふべきなり。

爲替の關係を見るに本年三月上旬一磅につき一一・七フランまで下落し一時獨逸マークの二の舞ひを演ずるなきかまで危まれしフランは、英米銀行家の財政援助と新財政法案の兩院通過等によりて頓に好轉し現今にては七〇フランを上下し當國財政の比較的健全に成りしことを裏書するものなり。

當國歳出の半以上を占むる國債元利償還は又財政上甚だ重要な意義を有するものなり。即ち毎年の國債償還は一二〇億フランを要し、一般費即ち行政、軍事費は逐年減少せらるに、獨り國

債費のみは増加の傾向にありき。それは國債現在高が年々多くなり行く爲にして大正十一年は三一七〇億フランなりしもの昨十二年は三八〇〇億上りたる如き理由にありき。乍而毎年の發行高を比較すれば逐年減少しつゝあるは明かなり。この公債は賠償引當に復興費等の特別歳出の爲に發行さるものにて、本年はルー、及ラインランドより三〇億フランの利益をあぐる豫定なれば公債發行は餘程減ぜらるべく、大正十二年國債純増加は一五三億なりしかば本年は約その五分の一に減じて可なり。

フランス銀行の正貨保有高は本年三月末、五五四一〇〇萬フランにして戰前に比し多少の増加を示せり。

外國貿易を見るに大正八、九年に輸入超過最も多く、その後は漸減せり即ち左表の如し。(單位百萬フラン)

	輸入	輸出	入超
大正七年	二二、三〇〇	四、七三二	一七、五七八
八年	三五、七九九	一一、八七九	二三、九二〇
九年	四九、九〇五	二六、八九四	二三、〇一一
十年	二三、五四七	二一、五五三	一、九八四
十一年	二四、〇〇〇	二〇、六五〇	三、三五〇
十二年	三二、六〇八	三〇、四三一	二、一七七

本年は輸出の増加輸入の増加に倍し、輸入品は原料品の増加の顯著にして、戰時及戰後復興の爲に必要なりし莫大なる輸入は終絶し、アルサス、ローレンの復歸並にルー、ラインランドの占領は從來の農業國たるフランスを工業國に變じ今後貿易上の形勢は良化すべしと信ぜらる。

本年度預算編成上最も重要なものは國內財政政策上の改革にして、之により七〇一八〇億フランの歳入増収に成り、多額の公債又は借入金によらず歳入出の均衡を得らるものと推定さる。かくの如く凡ゆる方面より觀察する時は將來樂觀を許さるべき状態に既に入りしものと解さるゝなり。

○英領コロンビヤに於ける氷河期以後の新火山

カナダ地質調査所ドゥルメーザ氏は一九二一年及二二年に於て、バンクーバーの北方約三四〇哩のミルバンクズ附近にオストブライストシンの迸出にかゝる新火山を拾餘箇所に發見した。レーク島にては三〇〇米の圓錐丘をつくり、スウインド島の南に於ては熔岩流の厚さ六〇米に及ぶといふ。熔岩は主として基性の安山岩及玄武岩よりなり、玄武岩中の斜長石はアンデシナブラッドライト Andesite である。これ等の火山列は幅狭けれど、北西―南東に向ひては延長二五哩に及び、その延長デニー島及び附近には新岩脈多しといふ。これ等の新火山岩及其のタフは、氷蝕を受けた花崗閃綠岩の上を覆ひ、又は氷河漂石の上を被覆し、明に氷河時代以後の噴出にかゝるものゝ由である因に、コロンビヤに於けるかゝる新火山岩の發見は一九〇八年、一九一三年にもあつて今回で三回目である。ジャーナルオブジオロジー。一九二四

○露國の石油産額

一九二四年度の露國の石油に就て、最近勞農政府の發表に據れば、本年九月末迄の一ヶ年間に於ける露國産油額見積は三億七千五百萬『ブード』にして、昨年度産額三億二千萬『ブード』に比し、十七%の増加を示し、戦前

産額の六二%に相當せり、石油産額の復舊には種々の難關横はれるも、一九二二年以來着々其産額復舊しつゝあるは左の如し。(單位千ブード)

一九一三年五九、八八〇〇。一九二二年二八七、八〇四。一九二三年三二〇、六〇二。一九二四年三三五、〇〇〇(見替)。一バレルは八・四ブード、一ロングトンには六二ブードに相當す。上記産額鐵區別左の如し。(單位同上)

	一九一三年度	一九二三年度	一九二四年度
バク	四六七、〇〇〇	二二四、四二四	二六五、〇〇〇
グロズニ	七三、七〇〇	八八、五一八	九六、五〇〇
エムバ	六、〇〇〇	七、六六〇	八、〇〇〇
マニコフ	七、四〇〇		
チエレケン	八、〇〇〇		

○山東棉狀況

棉花は其成育中、高温なるを要し其開絮期には降雨少きを可せず、開絮期に降雨繁からんか、品質を劣變せしむる處あり、播種後は成育期間を通じ、降雨相當にありて、其發育を助長し、開花期には夜間降雨屢々ありて晝間晴れて開絮期に入て決晴打續くを理想的の氣候とす、山東地方が例年四五月頃の播種期に幾分雨少きの憾あるも、九十月の開絮期に降雨少なきことは棉花栽培に適當の地なりといふべし、一方山東の棉作地は所謂黃土に屬し、比較的有機分に乏しき憾あれども、適當の磷酸質肥料及有機質肥料を加施するに於ては、棉作地として可成良好なる土襲を有す、而して現今山東省内に栽培せらるゝ棉花は、在來支那種及米棉種の二種なり。支那在來種は、

品質極めて雑多なれども、一般に纖維の長短に依り、長毛種小毛種ヲ稱し又纖維の色により白花紫花に分ち、種子に於ける絨毛の有無に依り白子種(有毛種子)黒子種(裸種子)等と稱す、一般に十六七番手以上の紡績原料に用ひられず、唯右白棉中には絨維美細長さ一寸以上に達し二十番手以上の紡績原料となるものあり、米棉種はトライストーチース、キングスインプルウード等にして支那官憲は棉花改良の目的を以て是等米棉の栽培を、奨励しつゝ、あれども、是等米棉種を栽培せる地方に於ては、概ね在來種と混植せられ居る由にて、毎年同一種の混植は漸次在來種化し、年次品質を低落しつゝ、あり、又米棉種の栽培も其纖維細長柔軟にして中入用又は太糸紡績用としては品質優良に過ぎ其地方の消費に適せざる爲め却て販路に困難の狀態にあり、斯かる狀なるが故に現今山東省に於ては依然在來種多く栽培せらる。

山東省の棉産地は極東部を除く外到所其栽培を見極めて普遍的なりと雖も最著名なるは直隸省南境と相接する地方即ち東臨道下諸縣にして、次で河南省界に近き留縣地方及此山東河南河津地方とす、之を地方別に列舉すれば左の如し。

イ、北山東 樂陵、武定、利津、蒲臺、濱州、霑化、商河陽信臨邑の二帶(集散地、周村、濟南)

ロ、南山東 鄆城荷澤、城武、定陶、鉅野、單縣、曹縣、富州の二帶(集散地濟南、濟寧兗州、河南)

ハ、西山東 臨清、夏津、清平、高唐、館陶、堂邑武城、邱縣の二帶(集散地天津濟南)

ニ、東山東 鄆平、高苑、博興、濰光、安邱、諸城の二帶(集散地青島濰縣周村)

是等の地方産棉花は各集散地より濟南天津青島及浦口方面に運搬せられ居るも尙省内にて消費せらるゝもの多し、濟南に蠶集するものは主として北山東濱州棉及び直隸省吳橋威棉等にして當地に集りたるものは更に膠濟津浦兩鐵路に依り、青島天津及浦口方面へ移出せらるゝ、年産額は凡そ五六十萬擔に達するもの、如し。

○巴奈馬通過船 (一九二四年度) 巴奈馬運河官憲の發表

によれば一九二四年度(自一九二三、七月一日至一九二四、六月三十日)間、巴奈馬運河通航商船數は前年度に比し著しき増加を示し、通過船數五、二三〇艘、其通過料二四、二九〇、九六三弗五四仙にして年度別の最高記録たり、之を表示すれば、

一九二三年會計年度	三、九六七隻	一七、五〇八、四一四弗八五
一九二三年曆年度	五、〇三七	二二、九六六、八三八、一八
一九二四會計年度	五、二三〇	二四、二九〇、九六三、五四

この一日平均數一四隻二九、通過料六六、三六八弗七五仙に達すといふ。

○新市場としての西阿沿岸 歐戰以來阿弗利加西海岸の歐洲諸強國は急激に發展せり、諸國は歐米品の新市場として、將又原料供給地として是等地方に注意するに至り、移民計畫及航路開始相繼で實施せられたり、是等地方輸入品の主なるものは綿製品なり一九二二年佛領西阿綿製品輸入額は九千四百萬法なり而して其大部分は佛國及英國にて仕入れたるものなり、

新刊紹介

自耳義領公界貿易の大部分は本國との間に行はるゝ、他諸國との貿易も漸次發達しつゝありて一九二一年綿製品輸入額は三千九百萬法なり葡領西阿即ちアンゴラ最近の發達亦顯著にして一九二二年綿製品輸入額二千五百萬『エスクド』なり英獨伊諸國は是等地方との貿易を重要視し米國亦直航汽船を有す其市場として將來刮目すべきものあるべし。

○文檢地理科豫備試驗問題（大正十三年十月廿一日）

第四十一問。

一、阿武隈川流域の地圖を描き其の人文地理を述べよ。

二、山西省の地圖を描き其自然地理を説明せよ。

三、湖水の定常振動（セイシュ）を説明せよ。

四、赤經赤緯とは何ぞや。

五、ヨーロッパの運河網を描き之につきて知る所を記せ。

六、現今世界に於ける小麥の主要なる生産地と消費地とを挙げよ。

七、左の地及諸項につきて知る所を記せ。

イ、プロートン湾 Droughton

ロ、世界の主要なる金産地

ハ、ドブルダヤ Dobruja

ニ、北アメリカの太平洋沿岸にある主なる軍港

ホ、川邊特別區域

右四時間。

○地理教育

大正十三年十月一日發行
地理教育研究会

かれて發刊の豫報のあつた地理教育研究會の機關雜誌として其の第一號が出たのは眞によるこぼしい。この研究會の發起人は東京兩高等師範學校地理科の教官諸氏を中樞として、東京の中等學校教員奈良廣島兩高等師範學校教官等の諸氏を加へた顔觸れで、地理教育の革新及び發展を天下に呼號せんとするものである。五十二字詰十八行といふ極めて字數の多い百四頁の冊子で、地理學者としての橘南谿、ケラツク國の建設と境界、カリフォルニア州の地理概要、支那の鐵道といつた様な論說、研究抄録、旅行談、教授研究、研究指針、教材研究、研究發表といつた様な研究欄が三五頁の多きに涉り、文檢資料、受験界をはじめ講座、質疑、時事抄録、新著紹介の諸欄があつて、編輯當局者の大車輪を想像するに餘りある。就中小學校教員檢定試驗問題、國語讀本に現はれたる地理上の教材、郷土地理實施の經驗等の如きは本誌の特色さといふべきもので國民教育當局者を指導する效果の大なるべきを實せざるを得ぬ。我々『地球』の刊行を維持さに苦心するものは特に本誌の健全に發展普及せんことを衷心より祈る。（藤田）